

バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No.128 号外

SABS Journal No. 128 extra

発行日：2021年10月11日

URL：<http://sabsnpo.org>

今回の号外ジャーナルは次回定例会を10月16日（土）に開くというお知らせです。

前回の127号では、「このまま‘収束’が続き今度こそ予定通り開けることを切に祈るばかりです」と書いたのですが東京の感染者数はどんどん減り続け、遂にここ数日100人/日を切りました。全国的にも急激に新規感染者数が減ってきました。そして9月30日には遂に全国的に非常事態宣言が解除されました。皆さまもワクチン接種は終えたことと思います。そこで久しぶりの定例会を渋谷で開くことに踏み切った次第です。

前回は昨年10月24日でしたので本当に一年ぶりです。まずは皆さまの近況報告を中心に多少飲物も頂きながらコロナの話題も含めて楽しい会にしていきたいと思っています。

開始時間も今までの2時より早めて1時とし帰りを少し早くし最近人出が多くなっているという渋谷の雑踏を少しでも避けることと致しました。

多数の方々のご参加をお待ちしています。もちろん初めての方も大歓迎です。

なお12月4日には昨年はキャンセルせざるを得なかった忘年会を例年通り開く予定です。

バイオテクノロジー標準化支援協会（SABS）第104回 定例会

日時：2021年10月16日（土）13時 - 17時

場所：八雲クラブ（東京都立大学同窓会）

（渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス10階）

演者：出席者全員

話題：近況、ノーベル賞、コロナウイルスなど自由

八雲クラブではパソコンやプロジェクターが使えます。当分の間キッチンには使用禁止なので、各自ペットボトルなどの飲み物をご持参ください。また恒例ではこのあと近所の酒場で懇親会をやるのですが、未だ残念ながら無理なので今回も中止です。

ご注意： 定例会は、昨年まで1月-10月まで第4金曜日に開催していたのを現在は第4土曜日に変更して開催しています。なお11月はお休みで12月は第2土曜日（12/4）を既に予約してあります。

定例会会場八雲クラブへの道順：

渋谷駅ハチ公交差点から井の頭通りの坂道の右側を東急ハンズの看板目指して上ります。ハンズの手前で右の急坂を登って行き、坂の途中で左に曲がり新しい高層ビルを右にみながら坂道を登り直ぐ左側にある古いマンションがニュー渋谷コーポラスです。入口奥のエレベーターで10階に上ると直ぐ左隣の部屋が八雲クラブです。

このジャーナルはバイオテクノロジー標準化支援協会（SABS）会員だけではなく、広い意味でのバイオテクノロジー関係の方々にも配信しています。現在、このジャーナルを読んで下さる方々は600名近く居られます。殆どの方が故奥山典生先生の関係で先生の広かった人脈に改めて驚いています。ぜひ読者の方々からも話題提供をして下さる方をお待ちしています。また新たに購読希望の方々をご紹介頂ければ幸いです。

当SABSジャーナルのホームページ https://sabs.sabsnpo.org/sabs_j/ ではジャーナルの最新号を含めたバックナンバーが収録してあります。また創刊号からのバックナンバーは <https://medbiol.sabsnpo.org/EJ3/index.php/MedBiol/issue/archive> に収録しています。またお知り合いの方でこのジャーナルを配信希望の方が居られましたら会員である必要はありませんのでぜひ筆者のアドレス thiyama@athena.ocn.ne.jp に直接お知らせください。

- ① 配信停止希望の方は thiyama@athena.ocn.ne.jp にその旨お知らせください。
- ② 配信先アドレス等の登録情報変更も メールにてその旨お知らせください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録ご希望の方もメール下さい。
- ④ ウェブサイトに関するご意見もメールにて頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会

NPO Supporting Association for Biotechnology Standardization (SABS)

〒173-0005 東京都板橋区仲宿 44-2

URL:<http://sabsnpo.org>.

理事：荒尾 進介、小林 英三郎、田坂 勝芳、松坂 菊生、小川哲朗、川崎博史、檜山 哲夫

監事：堀江 肇

ネット管理：川崎 博史、田中 雅樹